

# 保活当事者の声アンケート結果 2019

## 1、実施概要

H31年4月の認可の申込者数は3,720人超となった、今春の保活の実態がどのようなものであったか、区の対策、指数変更の効果はどの程度あったのか当事者へのアンケート調査を実施し、その分析を行った。

( ) H27～29年度にも毎年同様のアンケートを行っており、そのアンケート結果も分析に利用した。

- ( 1 ) 対象:杉並区の認可保育所に H31 年 4 月入所(一次)の申込みをした保護者  
( 途中辞退した方、最終的に申し込みを断念した方も対象 )
- ( 2 ) 期間:H31 年 1 月 25 日 ~ 年 2 月 5 日 ( 12 日間 )
- ( 3 ) 実地方法: web アンケート
- ( 4 ) 回答者数: 95 件 ( 回答対象児童数は 100 件 )

## 2、総括

### -当事者の不足感は改善傾向、今後は量とともに質の向上にも期待

杉並区による認可保育所等の精力的な整備の結果、アンケート回答者の内定率や不足感、地域格差への不満は年々改善している。一方でアンケート回答者の12%が保育の質に関する要望を挙げている。引き続き精力的な整備を進めるとともに質に関する不安(私立園の質のばらつき、区立園の民営化等)の解消施策を期待する。

### -3歳児クラスの入園可能数は2年前より28%減少、当事者からは不安の声

今年度(4月入所一次)の3歳児クラスの入園可能数はH29年度と比較して28%減少している。小規模保育所等の卒園児の受入先として積極的な認可保育所3歳児クラスの定員拡充が必要である。また保護者が安心して2歳児クラスまでの保育施設を利用できるよう3歳以降の受け皿の透明化する仕組み(3年先の新設園(連携園)計画の情報開示、または3歳児クラスからの認可保育所の整備等)を希望する。

### -育休加点導入の効果は高くない、更なる改善を求める

アンケート回答者の27%が希望の時期に入所出来ない不満をあげており、現時点では育休加点導入の効果は高くない。育休を長期取得したい保護者からは「結局育休を早期切り上げないと入所ににくい」、早期復職が必要な保護者からは「加点方式が不公平」との声があがっている。

それぞれが希望する時期に入園できるように認可保育所等の定員拡充及び更なる制度改善を求める。

## 3、詳細

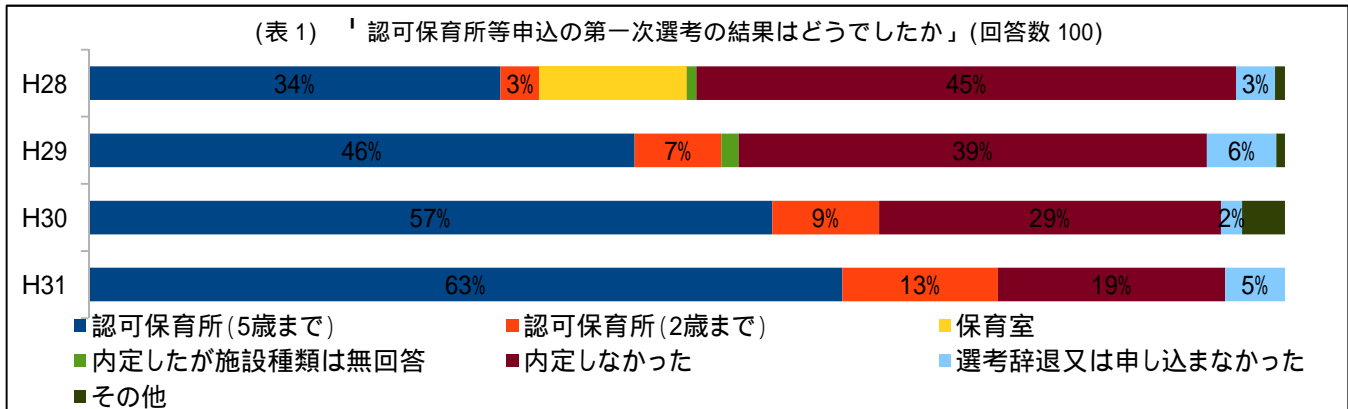
### 認可保育所等の整備について

杉並区では H28 年度の保育緊急事態宣言以降、精力的に認可保育所等の定員拡張をしている。H31 年度からは 1,473 名分の定員が追加された。(『平成 31 年 4 月に向けた今後の保育施設の開設等の予定(31 年 1 月 4 日)』より)

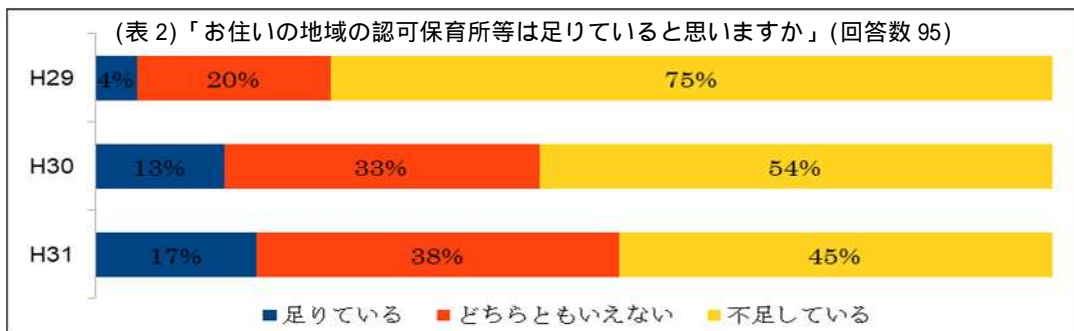
### -当事者の内定率や不足感は改善

アンケート回答者における認可保育所等の一次選考の結果は「内定した」の割合が年々増加しており、状況の改善が

見られる。



また「お住いの地域の認可保育所等は足りていると思いますか」への回答も年々改善傾向にある。



さらに感想として杉並区が認可保育所等を精力的に増員していることへの感謝の気持ちも多数寄せられた。

<当事者の声>

- ・近所に新設園も多くできたおかげで娘も認可に入れることが決まり、周囲の保活ママ友もほとんど第1希望に決まっており杉並区で良かったと思います。
- ・思ったよりすんなり決まったのですこし拍子抜けしました。育休延長ポイントが効いたのかな？杉並区ありがとう、という気分です。
- ・長女の保活の際(2015年)は認可に内定せず保育室に通うなど苦勞があった分、今年の保活は以前に比べ随分と状況が改善しているように感じた。

-地域格差も解消傾向

区への要望として「地域格差の改善」を挙げた方の割合はH29年度は19%だったが、今年度は7%まで減少した。改善傾向ではあるが、区境や大規模マンションが出来る地域等への増員を進めてほしい。特に区役所内で連携してマンションの建築計画を保育需要予測に役立てて頂くことを期待する。

<当事者の声>

- ・区境の辺境に保育園を増やしてほしい。希望した1箇所以外はるか遠方であり通園が難しい。
- ・方南町駅周辺エリアは大きなマンション(300戸)が出来たのに保育園が追いついていません。
- ・荻窪駅付近などニーズのあるエリアに保育園を増やして欲しい。
- ・高円寺はファミリー層が他の地域と比べて少ないからか保育園自体も数が少なく、保育園に入れるかかなり不安でした。

-当事者の12%が質についての要望あり

「区への要望」として「量だけでなく質の改善」を挙げた方の割合は12%だった。既存の認可保育所等の質の問題やばらつき、区立園の民営化に対する不満の解消をお願いしたい。

<当事者の声>

- ・ただ単に箱を増やすだけでなく、質の良い保育がきちんとできる保育園をつくってほしいです。
- ・保育園の新設だけでなく既存園の保育の質の担保に力を入れて頂きたいです。上の子の認可園があまり信頼できず...
- ・一昨年運良く新設の保育園に入りましたが、この2年、園長は挨拶なくやめたり、先生が見えるところで泣いていたり、多くの先生がやめたり、運動会もプールもなくなり...
- ・保育の質に園によりとてもバラつきがあるように感じました。
- ・保育園自体は増えているが、それぞれの園の保育の質などしっかり管理してほしい。
- ・区立保育園の民営化を進めないでほしい。私立だと保育士さんの待遇が園によって異なり、保育の質が保たれないのではないかと懸念する。むしろ私立を区立化してほしいと思う。

-その他、認証の認可化による弊害

杉並区では認証の認可化を行っており、H31年度には5つの認証保育所が認可保育所になった。(『平成31年4月に向けた今後の保育施設の開設等の予定(31年1月4日)』より)

それにより変則的な就業時間に対応できる認証・認可外保育園が減っている、という切実な意見もあがった。多様な生き方・働き方が叫ばれる昨今の時代に逆行して、選択肢を狭めるような事態が一方で発生していることは特筆しておきたい。

<当事者の声>

- ・勤務形態の都合上、預かり時間は20時半までが必須の中、認可は離乳食完了まで延長保育できず、18時半が最長との回答。やむなく、認証を申し込んでいる。イレギュラーな勤務形態に対応できる認証が減ってきてしまっているのが、気持ちが焦る。

### 3歳以降の受け皿の整備について

前述のとおり杉並区では精力的に認可保育所等の増員を行っている。それにもかかわらず区への要望として12%が「3歳以降の受け皿に対する不安」をあげている。

<当事者の声>

- ・小規模保育施設からの転園はやはり厳しいと思う。人数の枠がすでにないから結果遠い場所でも枠のある所を選択しなければならない。3歳児クラスの枠を広げて欲しい。
- ・3歳児クラスに入れない場合、法律も企業制度も守ってくれないので、最悪退職になるのでは、と気が気でなかったです。
- ・卒業時に加点が付く小規模保育も検討しているが制度がコロコロ変わっているので卒業時に予想と違っていそうで不安。
- ・小規模園作るのはいいと思うが、連携園が自宅から遠い場合は通えない。

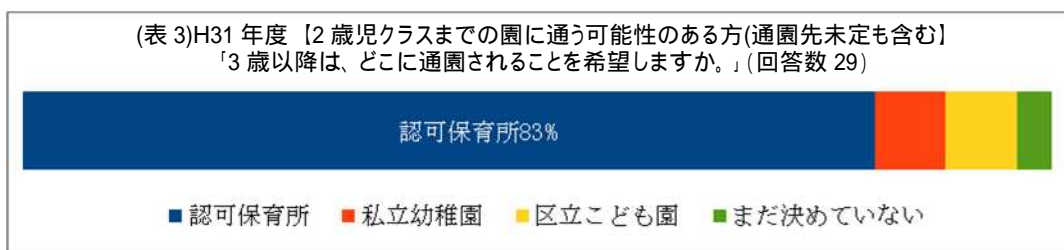
-保育施設利用者の15%超が3歳で転園が必要

杉並区の認可保育所等の2歳児クラスの定員2,671名のうち393名(15%)は2歳児クラスまでの認可保育所等である。(杉並区『平成31年4月認可保育所等の利用申し込み状況』より)

この393名の他に2歳児クラスまでの認可外保育施設(杉並区保育室、認証保育所等)の利用者もあり、認可・認可外含めた保育施設の2歳児クラス利用者の15%超が3歳以降は別の保育施設や幼稚園等に転園する必要がある。

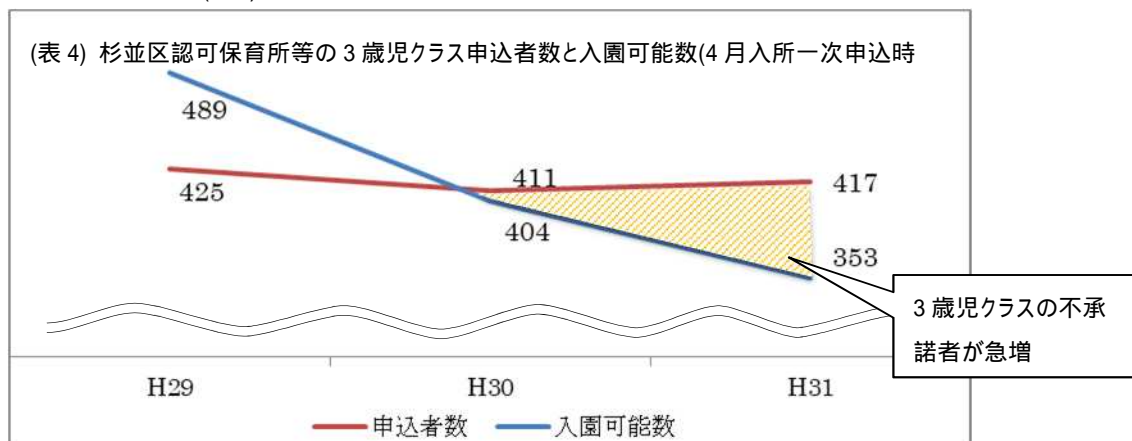
-83%が3歳以降の通園先として認可保育所を希望

2歳児クラスまでの保育施設に通う可能性のある方(通園先未定も含む)に「3歳以降は、どこに通園されることを希望しますか」と質問したところ、83%が認可保育所を希望している。



**-しかし3歳児クラスの入園可能数は年々減少**

杉並区の認可保育所等の4月入所の一次選考では、3歳児クラスの申込者数は過去3年間ほぼ横ばいであるが、入園可能数はH29年度と比べて136人(28%)減少している。

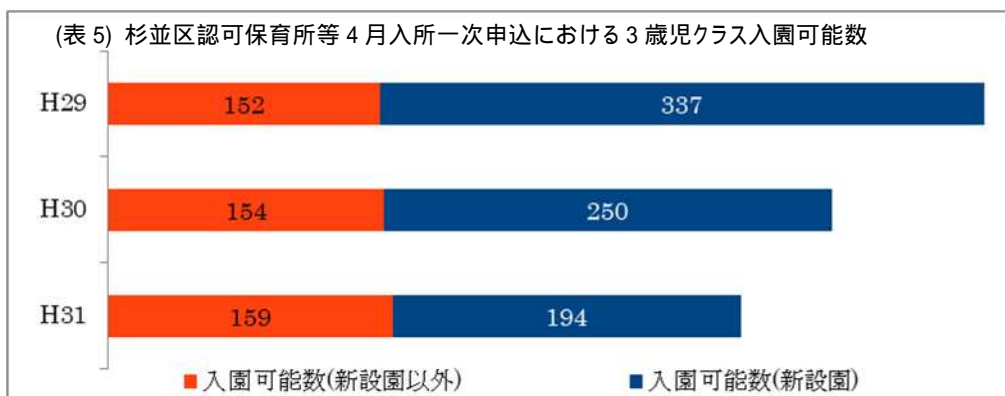


出典: 杉並区『平成29年4月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成30年4月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成31年4月認可保育所等の利用申し込み状況』

**-3歳児クラスの入園可能数はその年度の新設園次第**

その理由は、過去に比べて今年度の新設園が少なかったためである。というのも杉並区の3歳児クラスの入園可能数は毎年半数以上が新設園の入園可能数なのである。

これは杉並区が0又は1歳児～5歳児クラスまでの認可保育所の整備により3歳以降の受け皿を作っていることに起因する。というのは例えばある認可保育所(2歳児クラス定員9名、3歳児クラス10名)を新設した場合、開設初年度だけは3歳児クラスの入園可能数が10名だが翌年以降は1名(9名は2歳児クラスからの持ち上がり)になる。つまり毎年多数の新設園を立て続けないと3歳以降の受け皿は確保し続けられないのである。



出典: 杉並区『平成29年4月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成30年4月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成31年4月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成31年4月に向けた今後の保育施設の開設等の予定(31年1月4日)』『平成30年4月開設認可保育所及び地域型保育事業』『平成29年4月開設した認可保育所等』

### -3年先の受け皿の見通しが必要

現在の杉並区の整備方針だと、2歳児クラスまでの保育所に通う児童の3歳以降の受入先の有無はその児童が3歳児クラスになる年度の新設園の数に大きく左右される。

例えばH31年度に2歳児クラスまでの保育施設の0歳児クラスに入所した児童が2歳児クラス卒業後に別の認可保育所に入所出来るかどうかはH34年度の新設園の数次第なのである。そしてその情報が開示されるまでは保護者は子の2歳児クラス卒業後の子の通園先確保の見通しが立たず、場合によっては辞職もしくは通園先が確保出来る地域への引っ越しをせざるを得ない不安を抱え続けることになる。

なお補足として、一度育児休業を終了して復職している場合、子の3歳児以降の通園先が見つからないことを理由に再度育児休業は取得できない。

### -3歳以降の受け皿の拡充及び3年先の受け皿の透明化が必要

以上のことより、新設園の建設等による3歳以降の受け皿の拡充はもちろん、保護者が安心して2歳児クラスまでの保育施設を利用する為、3年先の3歳児クラスの整備状況の透明化が必要になる。具体的には3年先の新設園計画の情報開示、または3歳児クラスからの認可保育所の整備等を求める。

## 育休加点導入の効果について

H30年度から認可保育所等の利用調整指数において「認可外保育等」の調整指数加点の廃止及び「育児休業制度等」の加点の追加がされた。これは保護者に安心して育児休業を取得(利用調整指数の加点を目的とした0歳児からの保育施設等の入園を抑止)してもらうことが目的だと考えられる。(平成29年5月杉並区『待機児童解消緊急対策の総括と今後の取組』より)

しかしアンケート「保活開始から今回の選考結果を振り返って、感想や区への要望をお書きください。」に対して27%もの回答者が「希望する時期に入園したい」という要望を挙げた。この理由はなぜか。

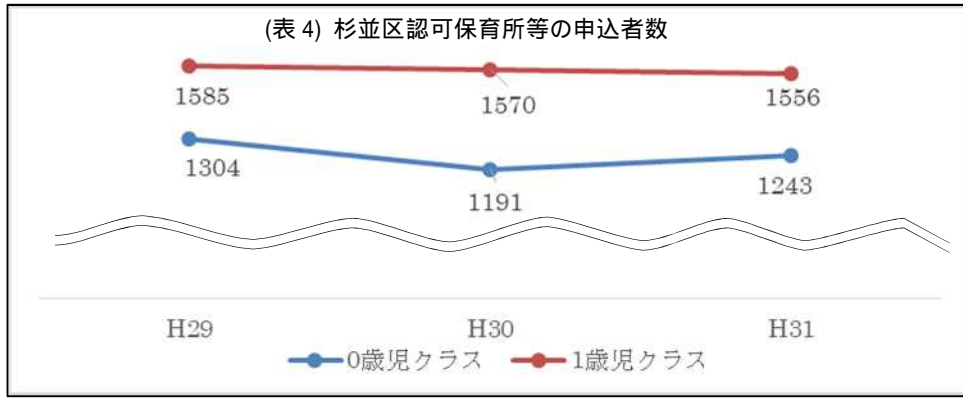
### -選考基準の改定により育休延長の選択者が増加

アンケート回答者のうち一次選考で内定しなかった方に対して今後の予定を質問したところ「育休延長」と答えた方はH29年度は0%だったのに対して、H30年度、H31年度は20%を超えている。これはH30年度に認可保育所等入所の選考基準が改定され、認可外加点が廃止となり育休加点が追加されたことによる効果だと考えられる。

	すでに押さええている認可外施設・幼稚園がある	認可外施設・幼稚園の結果待ち	育休延長	その他
H29年度	20件(36%)	35件(64%)	0件(0%)	0件(0%)
H30年度	5件(15%)	14件(41%)	8件(24%)	7件(21%)
H31年度	5件(26%)	8件(42%)	4件(21%)	2件(11%)

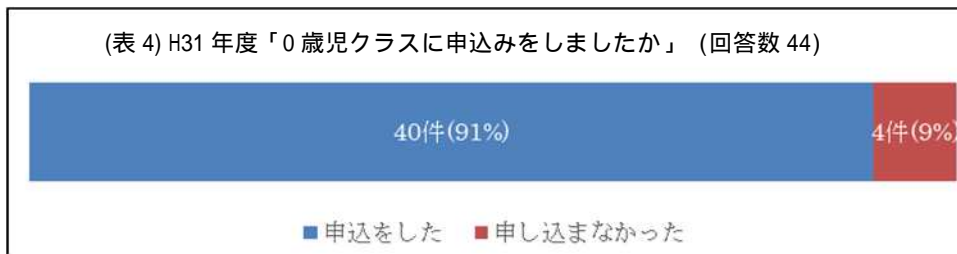
### -しかし0歳児クラスへの申込者数は減っていない

しかし過去3年間の認可保育所等4月入所(一次)の申込者数を比較すると、0歳児クラスへの申込者数はさほど減っていない。(保育施設利用の希望者数自体の増減も影響することから比較のため1歳児クラスへの申込者数も記載している。)



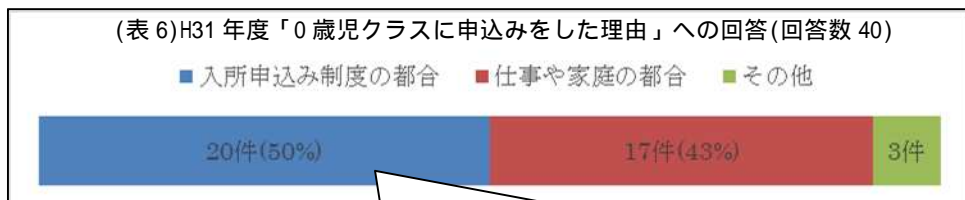
出典：杉並区『平成 29 年 4 月 認可保育所等の利用申し込み状況』『平成 30 年 4 月認可保育所等の利用申し込み状況』『平成 31 年 4 月 認可保育所等の利用申し込み状況』

またアンケート回答者においても 0 歳児クラスに申込を検討した保護者 44 名のうち 40 名(91%)が認可保育所等 4 月入所(一次)に申込みをしている。



-0 歳児クラス申込者の 50%は希望の時期に入園できれば育休延長した

申込みをした 40 名のうち 20 名(50%)が入所申込み制度の都合と回答している。



(入所申込み制度の都合の内訳)

- ・1 歳児クラスより 0 歳児クラスの方が入所しやすい・・・16 名
- ・上の子と同じ園は 1 歳児クラスの利用可能数がない・・・2 名
- ・子が満 1 歳になった月に年度途中入所したいが 4 月以外の入所が困難・・・2 名

具体的には 1 歳児クラスの入園の厳しさを挙げた人が多かった。

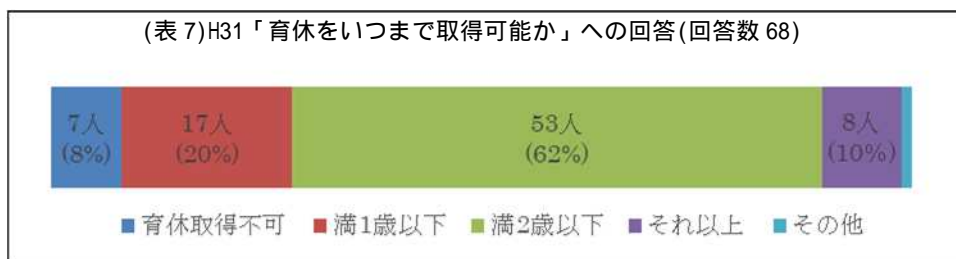
1 歳時クラス 4 月申込まで育休を取ることができたと育休加点を歓迎する声や、職場や家庭の都合等で早期復職を希望して 0 歳児クラスに申込をしたという声もある一方で、本来はもっと長く育休を取得したかったが 1 歳児クラスで入所出来る見込みが薄いのでやむなく 0 歳児クラスに申込みをしたという声が目立った。各自が希望のタイミングまで育休を取得するにはまだまだ制度改善が必要なのである。

<当事者の声>

- ・本当は 1 歳まで育休取得したかったが、1 歳児枠は激戦なのでやむなく 0 歳での入園を選択した。
- ・育休加点はみんな 2 点追加で状況はよくなないと判断し、0 だったら認可枠全て書込めば入れるのではないかと思った。
- ・4 月一斉入園ではなく、満 1 歳、満 2 歳になったら入園という途中月での入園枠を設定することも必要ではないでしょうか。

### -早期復職が必要な人からは不満の声

一方でアンケート回答者の28%は子の1歳4月まで育休を取得出来ない( )。



この28%は認可保育所等の0歳児クラスに入所出来なかった場合は認可外の保育施設を利用せざるを得ないが選考基準の変更により認可外を利用するとその後の認可保育所等への入所の見込みが薄くなってしまう( )。このことに対する不満の声が複数あった。

( )保護者全員が育児休業制度のない勤務形態の場合は調整指数の加点があるが、それに当てはまらないケース(片親のみ自営業、法律上は育児休業を2年取得できるが職場環境上NG等)の方が多い。

#### <当事者の声>

- ・認可外保育所に預けた際についていた加点の廃止は見直してほしい。育休延長が難しい職場に勤める人は、育休明けで内定せず認証保育所に預けた場合、加点はつかず認可に入れるのは永久に不可能になってしまうのではないかと。
- ・育休を取っている人が点数が加算されるのは復帰を目指している人にとっては不利になるのでやめてほしい。不公平に感じます。
- ・育休加点導入により育休を長く取った人を早期仕事復帰する人より優先するのは、女性のキャリアアップを阻害し時代に逆行していると思う。育児取得、早期復帰、どちらも自由に選択できるよう、同点にするべきではないかと。
- ・自営業で育児休業制度がないことから育休加点も見込めず0歳で入れないとかなり厳しいと思った。

### -さらなる保育枠拡充や制度改善を求める

育休を長期取得したい人が希望のタイミングまで取得するには1歳児クラスの入園可能数の拡充はもちろん更なる制度改善が必要である。また早期復職が必要な人にとっては選考基準の見直しも必要である。それぞれが希望する時期に入園できるように入園可能数の拡充及び制度改善を求める。

## 4、アンケート結果

### (1) アンケート回答者の申込クラス( 回答数 100 件( ) )



( ) 1回答者が同時に複数児童の申込をした場合は複数カウントした。

### (2) 回答者の居住地域(回答数 95 件)

地域	阿佐谷南	阿佐谷北	井草	永福	荻窪	下井草	下高井戸	久我山	宮前	高井戸
回答数	5	2	2	3	7	3	1	4	1	1
地域	高井戸西	高円寺	高円寺南	高円寺北	今川	松ノ木	松庵	上井草	上荻	上高井戸
回答数	2	1	6	4	1	1	2	2	2	2
地域	成田東	清水	西荻南	西荻北	善福寺	天沼	桃井	南荻窪	梅里	浜田山
回答数	2	1	2	2	2	7	1	4	1	1
地域	方南	堀ノ内	本天沼	和泉	和田	世田谷区 ( )				
回答数	3	5	2	8	1	1				

( ) 杉並区への転居予定者

### (3) お住まいの地域の認可は足りていると思いますか( 回答数95件)

	不足している	どちらともいえない	足りている
H29 年度	104 件( 75% )	28 件(20% )	6 件( 4 % )
H30 年度	60 件(54%)	37 件(33%)	15 件(13%)
H31 年度	43 件(45%)	36 件(38%)	16 件(17%)

### (4) 現在(2019年1月)の保育状況を教えてください。( 回答数100件)

	認可保育所 (5歳まで)	認可保育所 (2歳まで)	保育室	認証保育所	無認可保育所	両親(or片親) による保育
0歳児	0件	0件	0件	1件	0件	43件
1歳児	0件	0件	1件	3件	3件	33件
2歳児	0件	1件	1件	0件	0件	4件
3歳児	3件	3件	1件	0件	0件	0件
4歳児	1件	0件	0件	0件	0件	0件
5歳児	2件	0件	0件	0件	0件	0件

認可保育所等入園済みで転園希望のない兄弟はカウント対象外とした。



(5) 一次選考の申込状況及び結果(回答数100件)

<全体>

	認可保育所(5歳まで)に内定	認可保育所(2歳まで)に内定	選考辞退又は申し込みなかった	内定しなかった	その他
H28年度	42件(34%)	4件(3%)	4件(3%)	55件(45%)	17件(14%)
H29年度	63件(46%)	10件(7%)	8件(6%)	54件(39%)	3件(2%)
H30年度	64件(57%)	10件(9%)	2件(2%)	32件(29%)	4件(4%)
H31年度	63件(63%)	13件(13%)	5件(5%)	19件(19%)	0件(0%)

<申込クラス別>

	認可保育所等(5歳まで)に内定	認可保育所等(2歳まで)に内定	選考辞退又は申し込みなかった	内定しなかった
0歳児	26件	8件	4件	6件
1歳児	28件	3件	1件	8件
2歳児	2件	2件	0件	2件
3歳児	5件	0件	0件	2件
4歳児	1件	0件	0件	0件
5歳児	1件	0件	0件	1件

(6) 内定しなかった方の今後の予定 (回答数 34件)

	すでに押さえている認可外施設・幼稚園がある	認可外施設・幼稚園の結果待ち	育休延長	その他
H29年度	20件(36%)	35件(64%)	0件(0%)	0件(0%)
H30年度	5件(15%)	14件(41%)	8件(24%)	7件(21%)
H31年度	5件(26%)	8件(42%)	4件(21%)	2件(11%)

(7) 【0歳を選択した方】申込したor申込みなかった理由をお書きください。 (回答数44件)

申込をした	申し込みなかった
40件(91%)	4件(9%)

0歳児で申込した理由

- ・仕事の都合等(認可保育所等の入園申込制度とは直接的には無関係)・・・17件
- ・1歳児クラスより0歳児クラスの方が入園しやすい・・・16件
- ・上の子と同じ認可保育所等は1歳児クラスの入園枠がないので仕方なく・・・2件
- ・(子どもが満1歳になる頃等に)年度途中入園したいが、認可保育所等は4月にしか入園できない・・・2件
- ・その他・・・2件(自営業で育休制度がない、育休延長狙い)
- ・無回答・・・1件

0歳児で申込みなかった理由

- ・育休加点、給付金のため・・・1件
- ・多忙かつ切迫早産で保育園見学ができなかった・・・1件
- ・勤務形態(預かり時間~20:30)に合致する0歳児認可保育所等がない・・・1件
- ・早期復職が必要だが実態として認可保育所等への年度途中入園は困難なため・・・1件

(8) 【2歳児クラスまでの園に通う可能性のある方(通園先未定も含む)】3歳以降は、どこに通園されることを希望されますか。また、その理由は何ですか。 (回答数29件)

認可保育所	私立幼稚園	区立こども園	まだ決めていない
24	2	2	1

<p><u>認可保育所等を希望する理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利便性（延長保育、給食、通いやすい立地等）が良好だから・・・9件</li> <li>・ 子どもの発達環境に良好だから・・・5件</li> <li>・ 利便性・子どもの発達環境ともに良好だから・・・4件</li> <li>・ 不明・・・6件</li> </ul> <p><u>私立幼稚園を希望する理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通園しやすく環境がよい・・・1件</li> <li>・ 認可保育所等への途中入園は難しいため・・・1件</li> </ul> <p><u>区立こども園を希望する理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼稚園のような教育を受けさせたい・・・1件</li> <li>・ 不明・・・1件</li> </ul> <p><u>まだ決めていない理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不明・・・1件</li> </ul>
--

(9) 【2歳児クラスまでの園に通う可能性がある方(通園先未定も含む)】もし3歳以降の受け入れ先が決まらない場合、小規模保育施設の利用を希望しますか。また、その理由は何ですか。 (回答数 29件)

	希望する	希望しない	まだわからない
H29年度	0件(0%)	9件(82%)	2件(18%)
H30年度	8件(47%)	8件(47%)	1件(3%)
H31年度	15件(52%)	12件(41%)	2件(7%)

<p><u>希望する理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの発達環境上好ましくないが、預け先がないよりはマシなので・・・7件</li> <li>・ 仕事を継続するため・・・4件</li> <li>・ 不明・・・4件</li> </ul> <p><u>希望しない理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの発達環境上(人との関わり、運動量等)好ましくない・・・7件</li> <li>・ その他（近隣にない、預かり時間が短い）・・・2件</li> <li>・ 不明・・・3件</li> </ul> <p><u>まだわからない理由</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その時の就労状況が未定・・・1件</li> <li>・ 不明・・・1件</li> </ul>
---

(10) 育休は、最大いつまで取得・延長できそうですか？ (回答数86件)

取得不可	1年未満	満1歳	1歳を迎えた翌年 4月まで	1歳半	満2歳	2歳以上	その他
7件(8%)	12件(14%)	5件(6%)	17件(20%)	6件(7%)	30件(35%)	8件(9%)	1件(1%)

(11) 保活開始から今回の選考結果を振り返って、感想や区への要望をお書きください。

**< 要望 >**

	2019 年度	2018 年度	2017 年度	2016 年度
量の改善	6 件	14 件	18 件	50 件
量だけでなく質の改善	11 件	16 件	21 件	5 件
地域格差の改善	7 件	8 件	26 件	4 件
希望時期に入園したい	26 件	14 件	18 件	1 件
制度の改善	12 件	8 件	11 件	20 件
選考基準の改善	14 件	23 件	20 件	20 件
3 歳以降の受け皿の改善	11 件	9 件	10 件	8 件
保育士をふやす取り組み	1 件	0 件	6 件	5 件
情報公開の改善	10 件	18 件	11 件	8 件
その他	5 件	23 件	8 件	4 件
全回答者数	95 名	112 名	138 名	124 名

1 回答者で複数カウントあり。

「希望時期に入園したい」を目的に「選考基準の改善」を回答している場合は「希望時期に入園したい」としてカウントした。

**< 感想 >**

・区への感謝・・・17 件

・不安、不満・・・11 件

## 【当事者の声(自由記述欄より抜粋)】

### 量の改善

- ・いわゆる「フルタイム満点」の家庭ですが、全滅し厳しさを痛感しています。入園の年にたまたま近くに新設園ができる、といったラッキーがないと難しいのかなという感想です。
- ・妊娠中からかなりの数の保育園に見学に行き、夫婦で相談して希望を出したのに全て落ちた。去年の待機児童ゼロというのはなんだったのかと愕然とした。
- ・保育園が足りない。全然待機児童ゼロではない、見せかけだけ。新しく杉並区に転入した人には厳しすぎる。一生入らない気がする。
- ・どんな家庭でも、申し込んだら普通に受かる流れであって欲しい。少子化少子化って言われているのにこの状況、「昔の人そんなに専業主婦だったの」ってなった。
- ・夫婦ともフルタイムで働いているが、ほぼみなさんその点数での争いになる。第一子だと加点はないし、正直なところ1番入りたい所よりは入れそうな所を優先せざるを得なかった。選択肢が広がると嬉しい。
- ・入りたいところではなく入れるところを探すほかなく、通勤を考えると正直つらい。

### 量だけでなく質の改善

#### <既存園の質について>

- ・これからは、保育園の新設だけでなく既存園の保育の質の担保に力を入れて頂きたいです。上の子の認可園があまり信頼できず、園からは「定員数に対して兄弟枠でも入れない子が出てしまうから、育休を一年延長して欲しい」という理不尽な要求をされ、悩みに悩んで下の子は別園に希望を出しました。たぶん、3月末生まれで0歳に近い状態での入園となるため迷惑だったのだと思います。
- ・私は一昨年運良く新設の保育園に入りましたが、この2年、園長は挨拶なくやめたり、先生が見えるところで泣いていた、多くの先生がやめたり、運動会もプールもなくなり、小学校との連携した行事も全然ない。上の学年は先生不足で2学年1つでの保育。これって保育園でしょうか？場所・質・先生が整っていない保育園ばかり増やしてもその場しのぎにしかなってません。新設後の状況確認も含めて、区役所にはきちんと対応してほしいです。
- ・新設の園で保護者からの評判がよくないところもあるようなので、新設園を設立した後も区が運営などの実態を把握し続けて、改善できることは区のサポートで改善していけるとよいのではないかと思います。
- ・保育の質に園によりとてもバラつきがあるように感じました。
- ・保育園自体は増えているが、それぞれの園の保育の質などしっかり管理してほしい。

#### <民営化反対>

- ・質の問題についてまず申し上げたいです。保育園を増やす手段としての区立の民営化は安易すぎます。区役所内に保育のノウハウがあるか

らこそ、私立認可園を適切に監督・監査でき、保育の質を保つことができます。生身の人間を育てているのです、園庭の有無や保育士配置基準、一人当たりの面積をチェックするだけで「保育の質」が守られないことは保育部門の方が承知されているはず。 (具体例 <http://moriblog.info/?p=526> )また、区立園在園児たちは「区にお金がないから、明日からは先生が全員が変わるんだよ」といった目に遭っていますがそこまで想像できていますか？全ての園の質を低下させることなく、今の子どもたちの不利益を避けるために、これ以上の民営化は考え物です。保育園をふやして欲しいと言っている親で、質の犠牲を了承している人など見たことがありません。全ての園のためにこそ、区立園からの予算付け替えではなく、ストレートに保育予算を増やすことで保育園を増やしてください。

- ・今後民営化を進める方針は思いとどまっていたきたい。民営は不安要素が多い。
- ・区立保育園の民営化を進めないでほしい。私立だと保育士さんの待遇が園によって異なり、保育の質が保たれないのではないかと懸念する。むしろ私立を区立化してほしいと思う。

#### <その他>

- ・ただ単に箱を増やすだけでなく、質の良い保育がきちんとできる保育園をつくってほしいです。
- ・土地の問題で仕方ないこととは理解しているのですが、庭園があり5歳まで通える保育園がもう少し増えるとありがたいです。
- ・保育の質の確保にも一層力を入れてほしい。

### 地域格差の改善

#### <二次募集に偏り>

- ・二次募集を出している園にエリアの偏りがあるので、区には地域格差の是正をお願いしたいです。が、今後、保育園の供給過多により既存園の存続に影響が出そうでその対策も今から検討して頂きたいです。
- ・二次募集の空きのある園の地域に偏っているように感じた。保活を引き続き行わなくていけないので常に不安だ。

#### <区境>

- ・区境の辺境に保育園を増やしてほしい。希望した1箇所以外ははるか遠方であり通園が難しい。

#### <大規模マンションが新設されるエリア>

- ・方南町駅周辺エリアは大きなマンション(300戸)が出来たのに保育園が追いついていません。今後始発駅になれば転入希望家庭に注目されるエリアでしょうから新設が必要です。

#### <その他>

- ・荻窪駅付近などニーズのあるエリアに保育園を増やして欲しい。
- ・高円寺はファミリー層が他の地域と比べて少ないから保育園自体も数

が少なく、保育園に入れるかかなり不安でした。今回は何とか入れましたが、次のことを考え、またこの不安と戦うのかと思うと2人目については少し考えてしまいます。

・保育園のある場所のマップを見ていて沢山保育園のある場所とそれほどない場所の地域差が激しそうだと思いました。まだまだ改善の余地はあるのではないのでしょうか。

希望の時期に入園したい

<0歳児クラスの方が入りやすい>

・本心では1歳まで育休を取りたくても、隠れ待機児童問題を鑑みて、入所するために0歳児から申し込みざるを得ない状況だと思った。

・本当は1歳まで育休取得したかったが、1歳児枠は激戦なのでやむなく0歳での入園を選択した。

・新設園で0歳児の受け入れを定員以上にした結果か、翌年の1歳児の募集人数が区が出している資料の0歳児、1歳児の定員の差分より少ない園が複数ありました。駅近の園は1歳児の受け入れ枠が少なく、他は小規模園しかない状態で、5歳まで預けられる園に入れたい場合、駅から随分歩かなくてははいけません。そのような中、比較的自宅から近い園での定員削減でした。結果的に内定を貰えた為、問題ありませんが、その年だけでなく、翌年以降のことも考えて受け入れ枠を設定して頂きたいです。

・1歳での入園は厳しいと感じたため。(4月生まれのため、4月入園できないと育休は2歳誕生日までのため即アウトでした)

・0歳の4月入園でなければ入れられないと判断したため

・保育園には受かりましたが、自分がほんとうに希望するかたちは選べませんでした。(タイミング的に仕方ない、自らの判断ですが)今後、育休を延長しなかったことを後悔するかもしれません。全ての人が悩むことなく、希望する育児や働き方を実現できるような仕組みになるように、精度を高めていってほしいです。

・1歳児クラスの入園は厳しいため。育休加点がつくのを待っていたら出遅れると思ったから

・11ヶ月で入園予定。内定しただけ幸せなのはわかっているが、本当はもっと一緒にいたかった。いつでも望んだタイミングで入所できればとおもう。

・本当であれば1歳まで見ていたかったが、0歳入園が最も倍率が低く確実だったから

・我が家は育休延長に魅力を感じつつ確実に受かるために0歳で申し込みました。喜んで育休を延長した友人たちの今後が心配でなりません。新設園ラッシュの年に兄弟加点ありの0歳児でも落ちる状況です。枠の少ない1歳児に申込が殺到するでしょう。我が家が選んだかもしれない道で、他人事ではありません。きちんと対策をとってください。

<年度途中で入所したい>

・生まれ月や月齢に関わらず安心して預けられる保育の質の確保はもち

ろんのこと、4月一斉入園ではなく、満1歳、満2歳になったら入園という途中月での入園枠を設定することも必要ではないでしょうか。

・みなさまさまざまな事情を持っているので、入園させたいと思える最適なタイミングで入園できるようなシステムを作ってほしい。

・認可外加点廃止されてしまったため、1月出産だが4月復帰で申し込みざるをえなかった。

・できればいつでも(年度途中で)すぐ保育園に預けられるようになると嬉しいです。(現実保育士不足や保育園の定員の関係等で難しいのですが...)0歳児を預けるのは本当は寂しいし辛いです。せめて1歳迄は自分で育児をしたかったです。

<育休加点開始・認可外加点廃止で就労が制限される>

・育休加点導入により育休を長く取った人を早期仕事復帰するより優先するのは、女性のキャリアアップを阻害し時代に逆行していると思う。育児取得、早期復帰、どちらも自由に選択できるよう、同点にするべきではないか。

・やむおえず認証や保育室に入園した場合加点がつかない事を見直して欲しい。0歳で入園が叶わなかった人へ優先的に1歳で入園できる制度は無いのか、。

・育休を取っている人が点数が加算されるのは復帰を目指している人にとっては不利になるのでやめてほしいです。不公平に感じます。

・認可外保育所に預けた際についていた加点の廃止は見直してほしい。育休延長が難しい職場に勤める人は、育休明けで内定せず認証保育所に預けた場合、加点はつかず認可に入れるのは永久に不可能になってしまうのではないかと。私も4月に必ず復帰しなくてははいけなかったため、その点がとても不安だった。認証に預けてでも働く必要がある人が、きちんと報われる制度にすべきだ。

・4月からは入園できることになりましたが、年度途中について書かせてください。2月生まれのため、年度途中の0歳児入園を申し込んでいたが、入れませんでした。また、今年は、育休明け加算があったので、1才児4月に兄弟の通う認可に入園させたいことを考えると、他の認可や認証に空きがあっても、年度途中に入れたいほうが良いということがありました。育休取得を促進させたいということもわかりますが、複雑な加点により、就労が制限されることにつながるため、認可外加点をなくすだけでも良かったのではないかと思います。

・育休を取っている人が点数が加算されるのは復帰を目指している人にとっては不利になるのでやめてほしいです。不公平に感じます。

・認可外加点のとりやめを直してほしい。

<兄弟姉妹同園にするため>

・今回は、姉が既に在園している園への一歳クラスの申し込みで、無事に内定することができました。本来ならば昨年四月に仕事に復帰をしたかったのですが、姉がいる園が8ヶ月以上の月齢しか受け入れない園であるため申し込みなかったのと、認可外加点が廃止されたため、復職を

諦め、次年度に育休加点で申し込みました。

- ・上の子と同じ保育園に入れたかったため、0歳枠しか募集がない園のため育休を延長せず申し込みました。1歳枠の募集がある園であったら延長しなかったです。

<その他>

- ・結果に満足はしていますが、希望を言うとしたら、2歳児枠がもっとあればいいのになと思いました。うちは育休2年以上取れるので、可能であれば2歳4月で復帰したかったです。双子同園は難しそうなので諦めた次第です。
- ・今回は何とか入れましたが、次のことを考え、またこの不安と戦うのかと思うと2人目については少し考えてしまいます。入りたい時に入れるというところまでは難しいのですが、それに近い子育て環境は欲しいなと思っています。

### 制度の改善

<交通手段の補助制度希望>

- ・夫婦共働き(会社員とフリーランス)なのですが、始業時期が10月からだった為、4月入所の申し込みにも諸々証明書類が間に合わず、選考で減点され、希望の認可保育園に落ちてしまいました。方南2丁目周辺は認可外の施設も少なく、遠方の保育室を勧められました。自転車で行われている方々も大勢いらっしゃいますが、自転車の購入を考えると家計に大きな負担となり気が進みません。徒歩圏内の認可園はどこもパンパンで二次募集も希望クラスは空きが0です。親子ともに負担になる遠方の園を勧める電動自転車なりバス定期なり足となる手段を区から支給して欲しいです!!

- ・送迎が一番の負担になるので、送迎バス等の検討もしていただければ、選択肢が増えるかと思います。同時に働き方改革も政府が半強制的に推奨してほしいです(在宅率 %目標等)。

<育休延長に落選書類が必要な制度の改善希望>

- ・0歳では入園させたくないけれど、落選書類のために申し込む方の話を聞き、本当に必要としている人にとってはどうなんだろうと感じた。
- ・0歳で預けるつもりは全くなく、育休延長が目的だった。落ちるだろうと区立を1つだけ希望することにした。40点未満だが内定してしまったので預けて復職しなければならなくなった。どうして育休延長に不承諾証明が必要なのか。なぜ育児に専念するのは一年とされているのか。育休延長を2年にするなら保育園増やすより、その分の保育士を既存園に配置して1歳2歳枠を増やすべきではないかと思う。働きたいけど今はまだ子育て、という選択肢がない。仕事に戻るのはいつだっていいじゃない。働きたい人には保育補助、家庭保育する人には手当、でいいじゃないですか。なぜ、みんなが子供を預けたい、保育園を増やして欲しいと思っていることになってるんですかね。

<申込と入園のタイムラグを短くしてほしい>

- ・タイムラグ(11月締め切り、4月入園)が不便なのと、全く予測できない

のが心配で、もやもやしながら数ヶ月過ぎました。

<上の子の認可転園時に下の子の育休継続不可ルール廃止希望>

- ・第1子h30年4月に2歳児保育までの認証 認可への転園、第2子h30年2月出産のため、第2子のh30年4月の入園申し込みもできず、第1子転園のため育休も取れず、第2子を認証に入れて仕事復帰したにもかかわらず、今回h31年度の第2子の認可外加点も無くなり、制度のバグだと思えない状況での保活でした。制度の制約で仕事復帰したのに、加点ルール変更でより不利な状況に追い込まれて大変でした。

- ・育休中で転居してきた場合の保育園申込ルールについて改善を希望します。昨年9月、第二子の育休中に転居してきました。第一子の保育園申込をしたかったものの、第一子の保育園が決まったら職場復帰しなくてはならないということで、第二子の育休を翌4月までとることは譲れなかったため第二子が産まれたばかりの状態です。泣く泣く一日二往復4時間かけて前に住んでいた自治体の保育園に継続通園しています。幸い2人とも内定はいただきましたが、兄弟別園。上の子の保育園は新設園で、4歳児より上のお子さんはこちらの子以外にいないみたいで環境的に良いとはいえ、転園希望しています。転居した時点で職場復帰必須の決まりがなく転園申請できたら、既存園の4歳クラスの空きを待ったり空きのある園に申込できたりしたと思うとやりきれません。入園できなかった方もいることを思うと贅沢な要望かもしれませんが...。保育園児がいる中の転居は本当に難しいです。小学校で転校することは避けたいと考える親は多いと思いますが、保育園問題が絡むと色々やこしいのは本当に困ります。各自治体も住民を増やすことにマイナスになるはずなのに。

### 選考基準の改善

<転居者に厳しい>

- ・妊娠中から保育園見学等頑張ってきた。結果がこれです。人気のある園を一園だけ希望したわけじゃありません。5園全部埋めました。最後は居住歴で落とされるのに、最近引っ越してきた人が決まっているのは納得いきません。杉並区は祖父や母の地元で住むのを楽しみにしていましたが、残念です。
- ・新しく杉並区に転入した人には厳し過ぎる。一生入らない気がする。
- ・夫の転勤が急にきまり杉並区に来る事になったけれどいざ当事者になると通勤族には保活は非常に大変なんだと言うこと。就学だと両親フルタイムと違ってボーダーに満たないので保育園を選ぶという探し方はなかった。手当り次第応募が近い。
- ・区外から杉並区に転居する人間です。育休は1回延長して、1年以上経ってます。転居の理由は待機児童0であること、進学させたい高校大学に便利な沿線であることなどからマンションを購入しました。区民のみ付く加点が多く、これから永住する人間たちには何も無いのかと残念でした。案の定1次は落ち、二次も厳しいと言われ、保育室、定期利

用、認証のどれかでどこでもいいので入れれば、と思っています。要望は、杉並区民のみの優遇加点ではなく、今後税金で区に貢献する人間たちにも何かしら恩恵にあずかれる物を期待します。

・両親ともにフルタイム、育休中の為1歳児の加算二点がつくはずが、区外の為つかなかった。その他優先項目にも区外であるため不利になる項目が3つもあり、兄弟がいるにもかかわらず落選。優先を下の子優先にしなければ、もし上の子が決まったとしても、育休延長は不可、退園になりますと言われた。あと数ヶ月で杉並区民なのに…。区役所には申し込み時に出向いているが引越し予定者に不利である点の説明がなかった。2人同時入園の注意事項も第二次の〆切日に電話で説明。二次の結果待ちだが、引越し予定者への救済措置を項目に追記すべきだ。

・区の方にも既に要望があるようですが、在住歴は「転入から何年」ではなく通算の在住歴でみていただけるとありがたいと思います。生まれも育ちも杉並区ですが、祖母の介護で実家が中野区に転居し、結婚を機に杉並で子育てしたいと戻ってきたらその数年間でしか在住歴をみていただけないと知り寂しくなりました。

#### <兄弟加点関連>

・上の子が4月から小学生になりますが、下の子に兄弟加点がつかないのは、納得いきません。小一だって、年長だって、大して変わらないので、せめて小三までは、兄弟加点をつけてほしい。不妊治療をしている人は、年長までに兄弟姉妹を産める保証はないわけですし、時代についてきてほしいです。

・兄弟加点の仕組みは継続いただきたいです。

・たまたま上の子がいて、兄弟加点がありました。ちょうど入れ違いとなるお家は選択肢が増える反面、入れない可能性も高く、妊娠中から不安になるのは可哀想だなと思いました。

#### <1歳児クラス早生まれ優先に関して>

・同一指数の場合の優先順位について、1歳児は早生まれが優先されますが、我が子のように秋生まれだと0歳入園を暗に推奨されているような印象を受けるので出来れば除いていただきたいです。

・早生まれへの配慮(同点の場合)については1歳時申込のみとのことだが、1歳児申込で落ちてしまって、その配慮の恩恵を受けられなかった場合には、2歳児クラス申し込みの際にも配慮してもらえるように絶対してほしい。

#### <指数変更は根本解決にならず>

・認可外加点廃止や育休加点導入の指数変更で、上の子(3歳児)で行った保活と私の場合状況が不利に変わっていました。上の子は1歳児クラスからの園で、4月生まれの下の子は0歳児は別の園に応募しなければならず、前の制度であれば、認可外加点と兄弟加点で1歳児から、上の子の園に転園できる確率は高かったです。育休延長したらどうですか?と区の職員の方に簡単に言われましたが、制度はあっても延長ができる人ばかりではありません。また、この育休加点も10月の

時点で育休を取得しているというかなりグレーな仕組みで、例えば1歳児クラスを希望するとき、4月生まれの子は約2年育休を取ったの加点、一方3月生まれは約1年の育休で加点になります。この加点は何のためのものなのでしょう。何度かふやし隊にメールしようと思いましたが、もしこの制度が上の子の時にあれば、3月生まれの娘には有利でした(早生まれでとても苦労しました)。それを思うと、立場によって見方が変わると思い、なかなか言い出せませんでした。指数変更は根本的な解決にはなっていないことは強くお伝えたく、今回記入させていただきました。兄弟は一緒に園に入れたい、というのが親の願いです。ただ、兄弟がいない人が不利にならないよう配慮も必要かと思います。

#### <その他>

・私のような母親のみが自営業の場合は加点をつけるのはかなり難しい加点制度になってしまったのもさらに不安をあおりました。会社員である父親側が1年の育休を取れば加点がつきますが、今の社会では男性の1年育休はまだ難しいものがあります。また家計的にも厳しいのが現状です。

・知人や遠方の両親に一時的に保育をお願いし、どこの保育園にも入れないまま復職した場合に待機児童加点が付かないこともおかしいと思う。育休2年以上取得できる公務員や大手勤務先の方が優遇され、中小企業や自営業の人の立場も考えて欲しい。

・現在第二子妊娠中で5月に出産予定。第一子の保育園不承諾通知が届いた。1年半以上育休延長中であるのはもちろんのこと、「妊娠・出産に伴う保育の必要性」の認定は受けられなかったのか非常に疑問。

・転園したくても今通っているところがあるからと点数を減らされ、動くに動けずな譲許です。一度保育園が決まったら、園の方針とあわなくても、先生と合わなくても、聞いていたことと違うことになっても辞める以外の方法はないんですかね…聞いた話では3歳くらいからちょっと預けたいからといって半年前にパートを初めて保育室に入れてめでたく4月からこども園に内定。なんて方もいるようで…本当に必要としている人に優しい選定ではないような気がします。転園希望の人たちにゆっくり話を聞いて必要であれば加点する。そんなチャンスくらいはあってもいいのではないのでしょうか?場所・質・先生が整っていない保育園ばかり増やしてもその場のぎにしかなくなってません。新設後の状況確認も含めて、区役所にはきちんと対応してほしいです。

#### 3歳以降の受け皿改善

#### <小規模保育所卒園後の連携園が不透明>

・10月頃に小規模園はH31年から連携園をつくり卒園後の行き先を確保するということが言われたが、実際に小規模園に問い合わせたところ見通しが立っていない園がほとんどだった。園に丸投げではなく、区の方で割り振りを決めるなどの支援があった方がいいのではないかと思った。

・卒業時に加点が付く小規模保育も検討しているが制度がコロナ変わっ

ているので卒業時に予想と違っていそうで不安。

・小規模保育に決まりました。正直安堵しています。今回は入れなければ来年度以降1-2歳児で入るのはさらに難しいことは目に見えていました。実際、3歳以降の通う場所についても不安ですが、まずはここから繋いでいけなかなと思っています。連携制度も通いやすいところを決まればいいのですが連携園がさらに家から遠い園になってしまう不安もあったり、3歳以降の小規模保育など懸念事項はありますが、子どもが3歳になるまでには整ってくれることを願うばかりです。

・小規模園作るのはいいと思うが、連携園が自宅から遠い場合は通えない。

・小規模園に受かった友人のことも心配です。実際には連携施設が決まっていなくて実態だとか。小規模園はあくまで臨時対策であること承知の通りで、既に3歳児の壁が露呈しています、きちんと対策をとってください。

・2歳クラスまでの保育施設に通わせており、申込後も不安な日々を過ごしていました。連載施設の確保が実施されていけば安心なのですが、小規模保育は来年度末までの連携義務化とのことなので、是非というところ。3歳児クラスに入れない場合、法律も企業制度も守ってくれないので、最悪退職になるのでは、と気が気でなかったです。幼稚園の併願もギリギリまで迷いましたが、預かり保育対応の園は近くになく、選択肢はほぼありませんでした。

<3歳児クラスの入園枠が少ない>

・小規模保育施設からの転園はやはり厳しいと思う。人数の枠がすでにないから結果遠い場所でも枠のある所を選択しなければならぬ。3歳児クラスの枠を広げて欲しい。

・2歳までの保育園が増加した影響により、3歳以降の受け入れ先が不足しているとの印象。5歳まで入れる認可保育園の増設を引き続き継続して頂きたい。

・決まっただけでもよかったのですが、朝ラッシュの電車に乗らなければいけない不安と、来年度も応募しても受かるかどうかかわからない不安につきまとわれながら1年行かなければいけない。(编者注:小規模保育所の2歳児クラスの内定者)

・2歳までの保育園は待機児童解消にはならずその場しのぎの政策に思える。今後2歳までの認可園も小規模保育と一緒に5歳まで通える連携園を早急に決めてほしい。

・2歳までの小規模保育所は、アットホームであたたかい保育してくれるイメージがある。ただ、3歳以降の行き先が不安。卒園したあとの行き先が保証されていけば、もっと希望する人がいると思う。

#### 情報公開の改善

<情報を探しづらい>

・自分から情報を取りに行かないと保育園に入れないと感じる。SNSやママ友の情報に助けられたり振り回されたりした。区からもっと情報発信し

て欲しい。

・兄弟が3人以上いる場合の転園や同時入所をもう少し分かりやすく利用できる形にしてほしい

・ゆりかご面談の時に、保育園のことを教えて欲しかった。一歳児の保育園の入園が大変なのは、生んでから初めて知った。

<当落ライン(居住歴)を公開してほしい>

・保育園申し込み状況について公開されている情報は多いが、いまいち本当に知りたい情報がなかった。各保育園について、各指数の人が、第何希望で何人申し込んだかが知りたかった。

・居住年数で切られるのではないかと大変不安だったため、昨年度の当落ラインの居住年数をおおよそでよいから見られるようにしてほしい。

・居住歴が浅いため認可保育園の内定が決まるか不安だった。今後は居住年数の決定ボーダーラインがわかれば、保育園を選択する際のよい基準になるとおもふ

<情報公開が遅い>

・点数基準の変更が早急にすぎると思います。誰もが育休を延長できる環境である訳ではない事を想像できなかったのでしょうか。

・どこかの認可園には決まるよう小規模園の希望順位を高くしました。来年度からすべての小規模園卒園後の提携園を用意すると応募要項にあります。提携園がどこになるのか必ず入れるのか等の情報が少なく不安です。提携園の制度について区からの早期の公表を希望します。

・認可外加点が廃止されたため、復職を諦め、次年度に育休加点で申し込みました。結果的に姉妹同じ園に入ることができて良かったのですが、いきなり制度を変更されたことで、復職の予定が先延ばしされ、職場に迷惑をかけることになってしまったことは、今でもモヤモヤしています。今後保活をする家庭のためにも、制度変更や、その公表についてはもう少し改良して欲しいと思いました。

<その他>

・杉並区の保育課へ相談に行った時に聞いた情報と1月に発表された合格者の点数が違っていた。

その他

<認証の認可化反対>

・認証保育園や認可外保育園をむやみに認可保育園に束ねることはやめてほしいと思います。

・認証保育所を認可にしたりしているが、ハード面でも認可と呼べるのか疑問である。

・認可を増やして貰えるのはありがたいが、認証の認可化、認可外加点なしで保険として押さえておくことができない。

<イレギュラーな勤務形態に対応できる保育所希望>

・10月生まれ、1歳での入園は厳しいと考え0歳4月の入園を検討。しかし、勤務形態の都合上、預かり時間は20時半までが必須の中、認可は離乳食完了まで延長保育できず、18時半が最長との回答。やむ



なく、引越しも視野に入れ、認証を申し込んでいます。育休加点がつくので来年度を狙いたいが、1歳は厳しそうで...来年度が駄目だと、復職への難易度がぐっと高くなってしまふ為、滑り止めに早いうちから確保しておきたい気持ち強い。イレギュラーな勤務形態に対応できる認証が減ってきてしまっている、気持ちが焦る。保育園が増えても、預け可能時間にあわせた働き方ができない人も少なからずあり、そんな家庭の受け皿もある程度用意してほしい。

- ・自分の職場の始業時間が早く、せつかく近くに保育園があっても保育開始時間が遅くて選択肢に入れることができない。7時から園が増えてほしい。

#### < 保育園の供給過多への懸念 >

- ・今後、保育園の供給過多により既存園の存続に影響が出そうなのでその対策も今から検討して頂きたいです。

#### 感謝

##### <入所しやすくなった>

- ・元々中野区に住んでいましたが、保育園事情が悪く去年7月に杉並区に転入してきました。0歳はほぼ決まると聞いていましたが、無事第一希望の園に内定しホッとしています。区役所の対応や保育園の分布など、杉並区に対しては不満なく保活を終えられました。
- ・今回は兄弟加点があったので希望通りの結果となりましたが、それがないと3月生まれ1歳児クラスへの入園なので厳しい保活になっていたかと思う。ただ上の子の時に比べると近隣に保育所が増え選択肢も増え、幾分厳しさは和らいだように感じた。
- ・6歳差の兄の時と比べれば、保育園を選ばなければ0歳児クラスは入りやすくなったという印象です。もちろん荻窪駅前などの交通の便のいい場所などの5歳児までの認可園は人気なので難しいとは思いますが。
- ・保活開始当初は、認可保育所内定は厳しいと考え、認証保育所も含めて40園ほど見学した。しかし、第1希望の園に内定することができ、想像以上にスムーズに保活が進み驚いている。保育園一揆を起こし、行政に保育所不足を訴えてくれた保護者の先輩方のおかげだと思う。とても感謝している。また、杉並区に対しても、感謝の気持ちがある一方で、認可外保育所に預けた際についていた加点の廃止は見直してほしい。育休延長が難しい職場に勤める人は、育休明けで内定せず認証保育所に預けた場合、加点はつかず認可に入れるのは永久に不可能になってしまうのではないかと。私も4月に必ず復帰しなくてはならなかった、その点がとても不安だった。認証に預けてでも働く必要がある人が、きちんと報われる制度にすべきだ。また保育の質の確保にも一層力を入れてほしい。特に、区内で働く保育士さんが優遇されるような制度にしてほしい。
- ・今回第二子の選考結果がでしたが、第一子の保活をしていた時(四年前)より保育園が増えて選択肢が増えているのはよいと思いました。
- ・うちは両親フルタイム、育休加点、双子加点で43点、第1希望に内定し

ました。過去の指数別集計表を見ると今年とは比べものにならないくらい申込人数がいて、ボーダーも高く、うちでも入れる園に限られる状況です。杉並区と保育園ふやし隊の皆さんのおかげで保育園の母数が増え、待機児童ゼロの達成まで来られたことは本当に素晴らしいと思います。

- ・二次募集で0歳児枠が募集してて驚きました。久我山地域はだいぶ入りやすいのではないかと思います。

- ・認可保育園にすんなり内定しほっとしています。ひとえに過去のお母様方が声をあげてくださったことや区が保育園を増やしてくれているおかげかと思えます。

#### <育休加点に感謝>

- ・育休加点という新しい制度で周りがどう動くか読めず、不安な中でのスタートでした。ただ、我が子は3月末生まれで0歳クラスからの認可外加点狙いは絶対に無理だったので、今回の制度変更はありがたかったです。近所に新設園も多くなってきたおかげで娘も認可に入れることが決まり、周囲の保活ママ友もほとんど第1希望に決まっております杉並区で良かったと思います。
- ・今回は長女の通う認可園を第一希望にした為、兄弟加点を見込んで1歳児クラス4月の申し込みをし、無事内定した。ほぼ2年近い育休で育児も楽しめ、兄弟同じ認可園に春から通うことができるという理想の状況が叶い、区と保育園ふやし隊の活動に大変感謝している。長女の保活の際(2015年)は認可に内定せず保育室に通うなど苦労があった分、今年の保活は以前に比べ随分と状況が改善しているように感じた。
- ・認可外加点を無くし、育休加点を作られたこともとても素晴らしい試みだと考えています。

誰も小さい我が子を預けて働きにでたくはないですものね。

- ・育休ポイントが導入されてどうなるかなと思いましたが、入所枠が少ない園に決まったので育休を1年半延長して良かったと思いました。
- ・思ったよりすんなり決まったので、すこし拍子抜けしました。育休延長ポイントが効いたのかな？杉並区ありがとう、という気分です。

#### <窓口の方々の対応に感謝>

- ・書類不備がたびたびあり、締切後も追加書類の提出があり面倒でしたが、窓口の方々には快く対応していただき感謝しています。
- ・いくつかの園に見学に行きましたが、ここ数年にできた新しい園が多く、保育園が増えていることを実感しました。また、入園の競争率はあまり考えずに、方針に共感したり、雰囲気が良いと感じた順に、希望を出しましたが、第一希望に決まったのでよかったです。高井戸子どもセンターの職員の方にも、毎回親切に相談に乗っていただき、感謝しています。
- ・我が家の場合は子どもが特別養子縁組前提の委託期間だが、イレギュラーなケースについても職員さんの対応が非常に丁寧だった。
- ・区役所以外に子どもセンターで詳しく丁寧に対応していただけて良かった

た。

<公開されている情報が充実している>

・以前まで住んでいた市が保育園激戦区かつ私(母側)の通勤時間がかかることもあり、昨年の9月に杉並区へ引っ越してきました。

夫婦ともフルタイム勤務、加点なしですが、昨年1/1時点で杉並区には住んでいなかった為、同一指数の家庭の中では不利な状態でした。

そのため、申し込みをした園は昨年の申し込みの数字を見て、応募がそこまで多くなさそうな園を中心に選びました。

おかげで家から一番近い第一希望の認可保育所に内定を頂きました。

杉並区は数字を細かく公表してくださっているので、申し込み園を考える際に大変助かりました。

・締切直前に杉並区に転入してきました。杉並区は情報公開をしっかりされているので、転居先の保育園のポーターなどきめ細かに知ることができ、大変参考になりました。

・保育所マップは大変わかりやすい。

<その他>

・杉並区の認可園が急速に増えているとはいえ、まさか求職中の身で第一希望に通るとは思ってもいませんでした。杉並区のように園の希望順位も考慮される選考方法であれば、私のような指数の低い人でも希望が持てるということが分かりました。色々な意見があるとは思いますが、杉並区の待機児童解消への取り組みは、素晴らしいと思います。

・第2希望に内定したので基本的に満足している。自宅勤務の自営業者のポイントが低い自治体もあるそうだが、杉並はそのようなこともなく、問題なくフルタイム認定をしてくれた。

不安

・本当は5歳児まで受け入れの認可保育園(特に区立や大きな園)へ預けたかったが、私が今求職中で点数が低いから小規模を選ばざるを得なかった。入れるだけマシではあるが、保育内容に共感した本当に行きたい園に行けないのは残念。また、2歳児クラスまでの園に今回内定もらったが、その園は次年度の受け入れ先が幼稚園(家から遠く、園バスもない)のため次回も保活をしなければならぬと思うと憂鬱。

・激戦区と言われる杉並区での保活ということで、夏から保育園の見学を始めました。幸い、私立認可に受けましたが、第五希望の園でした。(園が嫌だったわけではなく、駅と家から真逆だったため優先順位が下がっただけです。)出来れば駅近が良かったのですが...認可に受けただけで文句は言えないという感想です。いくら園を見学しても、受かればありがたいという状況なので、果たして頑張っただけで園を見学した意味はあったのか...と思いました。もし、杉並区の保育園に受からなければ、職場の託児所に預けなければならなかったのが本当良かったです。職場は新宿なので通勤ラッシュに子供連れて行くのは本当に避けたかったので...

・保育園が決まるまで気が気でなく、復職できるか不安でいっぱいでした。

た。もっと安心して子育てできる環境整備をお願いしたいです。

・今までの人生、比較的真面目に暮らしてきて、自分の実力よりちょっと高い目標を設定して頑張っただけでクリアしてきました。保活はそれが叶わず、1歳で保育園に入って仕事を継続するのは身の丈に合っていないのかもしれない、と考えてしまいました。戦争中とかおばあちゃんももっと苦労して子育てしたんだ、と思って、頑張ります。自分の子供には仕事を充実してキャリアを積んでいける環境を望みます。

・決まっただけでもよかったのですが、朝ラッシュの電車に乗らなければいけない不安と、来年も応募しても受かるかどうかわからない不安につきまとわれながら1年行かなければいけない。

・聞いてはいましたが、認可保育園に入れるのは難しいと改めて感じた。一人目はたまたま認可に入れたが、二人目も同じように入園できるか不安。杉並区は、子育てをしながら働くのは難しい区なのだと思います。

・0歳児で入れず、この一年不安を持ちながらの保活でした。育休を推奨するのであれば0を減らしてでも、1歳児からの受け入れを増やすべきでは。

・二人目の園を考えるとまた産み月調整しなければ入れないかと思うと暗澹たる気持ちになる。

・第1子で保活に悩み、保育園ふやし隊としても活動してきた私でしたが、第2子でもやはり悩みや不安に変化はありませんでした。保育園の数は増えているものの、結局通える範囲でできる新規園は1歳~の募集でしたので申し込みはできませんでした。また、私のような母親のみが自営業の場合は加点をつけるのはかなり難しい加点制度になってしまったのもさらに不安をおおりました。会社員である父親側が1年の育休を取れば加点がつきますが、今の社会では男性の1年育休はまだ難しいものがあります。また家計的にも厳しいのが現状です。そういったことから、私は今回悩みに悩んで小規模保育を第一希望と第2希望にすることにしました。これが一番入りやすい策と考えたからです。そして、第一希望の小規模保育に決まりました。正直安堵しています。今回は入れなければ来年以降1-2歳児で入るのはさらに難しいことは目に見えていました。実際、3歳以降の通う場所についても不安ですが、まずはここから繋いでいけなかなと思っています。連携制度も通いやすいところに決まればいいのですが連携園がさらに家から遠い園になってしまう不安もあったり、3歳以降の小規模保育など懸念事項はありますが、子どもが3歳になるまでには整ってくれることを願うばかりです。

・二次募集の空きのある園の地域に偏っているように感じた。保活を引き続き行わなくていけないので常に不安だ。

・高円寺はファミリー層が他の地域と比べて少ないから保育園自体も数が少なく、保育園に入れるかかなり不安でした。今回は何とか入れましたが、次のことを考え、またこの不安と戦うのかと思うと2人目については少し考えてしまいます。